



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社 オーシャンシステム
 コード番号 3096 URL <http://www.ocean-system.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 勝人
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役社長室長 (氏名) 古川原 英彦

TEL 0256-33-3987

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	12,803	2.7	278	1.5	296	3.8	188	3.3
29年3月期第1四半期	12,463	3.2	274	30.3	285	26.9	182	30.8

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 214百万円 (41.3%) 29年3月期第1四半期 151百万円 (21.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	19.10	
29年3月期第1四半期	18.49	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	14,312	6,331	44.2	643.20
29年3月期	14,444	6,176	42.8	627.41

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 6,331百万円 29年3月期 6,176百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		6.00		6.00	12.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		6.00		6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,900	4.7	460	5.0	490	5.1	290	0.6	29.46
通期	52,500	5.1	1,040	13.6	1,090	9.8	600	23.1	60.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	10,833,000 株	29年3月期	10,833,000 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	989,121 株	29年3月期	989,121 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	9,843,879 株	29年3月期1Q	9,843,879 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や設備投資の底堅さが持続し、インバウンド需要の持ち直しや株高を背景に景況感は改善がみられるものの、所得の回復は未だに緩慢であることや米国トランプ政権の政策運営など景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

食品業界におきましても、人材不足と人件費の上昇が課題となるなか、引き続き緩慢な消費回復に加え、同業他社や他業態との競合により経営環境は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは「より良いものをより安く」の理念のもと、付加価値のある商品提供に注力し、「安全・安心」な食材の提供により企業価値の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は128億3百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は2億78百万円（前年同期比1.5%増）、経常利益は2億96百万円（前年同期比3.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億88百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(スーパーマーケット事業)

スーパーマーケット事業につきましては、ドライグロサリー商品の一括納品体制構築に取り組むことにより店舗業務の作業効率化を図りました。

また、5月にお買い上げ代金をお客様自らが機械で精算するセミセルフレジを田家店にも導入したことなどにより、レジ対応の迅速化とお客様の利便性の向上に努めました。これにより導入店舗は8店舗となりました。

しかしながら、チラシによる広告宣伝及びメールマガジンの配信を継続的に実施するなど集客を図ってはおりますが、一部店舗では競合店が出店した影響により、既存店の売上高は前年同期に比べ0.1%減少いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は57億17百万円（前年同期比0.1%増）、セグメント利益は1億46百万円（前年同期比3.5%減）となりました。

(業務スーパー事業)

業務スーパー事業につきましては、前期に引き続き新店や業績不振店を中心に飲食店舗への手配りチラシや新聞折込チラシなどにより新規顧客の開拓を図り、また、既存のお客様にはメールマガジンで特売品などのお得情報を配信することで集客力の向上に努めてまいりました。

また、4月はフランチャイザーである㈱神戸物産が全国規模でセールを行った効果もあり、既存店の売上高は前年同期に比べ、3.4%増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は38億39百万円（前年同期比7.2%増）、セグメント利益は1億12百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

(弁当給食事業)

事業所向け宅配弁当につきましては、主力の弁当に人気メニューを多く取り入れたことと、新潟県内においては、季節感のある麺やうどんを曜日変わりで提供しており、お客様からご好評いただいております。

また、コストに見合った適正な販売価格の維持・形成に取り組んだ結果、売上高、利益についても前年同期を上回りました。

惣菜等の受託製造を行っている千葉工場につきましては、前期より事業所向け宅配弁当「フレッシュランチ39」の製造及び販売を開始しており、食数も順調に増加しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は18億99百万円（前年同期比4.2%増）、セグメント利益は93百万円（前年同期比21.3%増）となりました。

(食材宅配事業)

食材宅配事業につきましては、新規顧客獲得に向け、お値打ち感の高いお試し価格によるキャンペーンや、人気の高い献立を1週間だけ集めて特別価格で提供する当社オリジナル企画などの販促活動を行ってまいりましたが、食材セット販売数は前年を割り込みました。

また、当社のオリジナルによる単品の企画販売や、ケアハウスや福祉施設などの法人向け食材販売にも注力しましたが、全体的には低調に推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は11億26百万円（前年同期比1.1%減）、セグメント利益は57百万円（前年同期比14.5%減）となりました。

(旅館、その他事業)

旅館「海風亭 寺泊 日本海」につきましては、日帰りでのレストラン利用客は減少したものの、旅行会社斡旋による昼食利用や宿泊客、及び老人会による利用客は増加いたしました。

定食屋「米どころん」につきましては、健康志向の食材を使用した新メニューやボリューム感のある看板商品の開発を継続して行っており、また、テイクアウトによる弁当販売にも注力しておりますが、依然として人件費の削減と、新店で取り入れたビュッフェ形式の惣菜等の原価管理が課題となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は2億19百万円(前年同期比7.3%増)、セグメント損失は31百万円(前年同期はセグメント損失38百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億31百万円減少し、143億12百万円となりました。負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億87百万円減少し、79億81百万円となりました。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億55百万円増加し、63億31百万円となりました。この結果、自己資本比率は1.4ポイント上昇し、44.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期第1四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、前回発表(平成29年5月12日)の業績予想に概ね沿う形で推移しており、今後も業績に大きな影響を与える可能性のある要因がないと考えられるため、変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,369,655	1,264,260
売掛金	971,533	940,256
商品	1,398,784	1,459,146
原材料及び貯蔵品	132,888	126,518
その他	522,299	631,420
貸倒引当金	△2,360	△2,487
流動資産合計	4,392,799	4,419,114
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,927,703	3,850,656
土地	2,977,760	2,977,760
建設仮勘定	—	758
その他(純額)	602,723	588,961
有形固定資産合計	7,508,187	7,418,136
無形固定資産		
のれん	5,652	5,092
その他	257,373	256,083
無形固定資産合計	263,025	261,176
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	114,233	114,460
その他	2,183,962	2,119,026
貸倒引当金	△17,507	△19,045
投資その他の資産合計	2,280,688	2,214,440
固定資産合計	10,051,902	9,893,753
資産合計	14,444,702	14,312,868
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,775,424	2,708,707
1年内償還予定の社債	800,000	800,000
短期借入金	586,727	1,081,146
未払法人税等	262,694	37,917
賞与引当金	218,989	95,017
その他	1,543,109	1,603,255
流動負債合計	6,186,945	6,326,043
固定負債		
長期借入金	430,174	334,538
リース債務	186,430	173,108
退職給付に係る負債	16,616	14,936
役員退職慰労引当金	440,800	132,700
資産除去債務	548,660	542,651
その他	458,937	457,275
固定負債合計	2,081,619	1,655,210
負債合計	8,268,564	7,981,254

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	801,710	801,710
資本剰余金	366,781	366,781
利益剰余金	5,628,563	5,757,534
自己株式	△751,653	△751,653
株主資本合計	6,045,402	6,174,372
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	117,204	145,556
退職給付に係る調整累計額	13,530	11,685
その他の包括利益累計額合計	130,735	157,241
純資産合計	6,176,137	6,331,613
負債純資産合計	14,444,702	14,312,868

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	12,463,583	12,803,036
売上原価	9,364,559	9,607,920
売上総利益	3,099,024	3,195,116
販売費及び一般管理費	2,824,498	2,916,375
営業利益	274,525	278,740
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	4,148	4,144
受取家賃	4,096	4,937
その他	14,068	14,494
営業外収益合計	22,316	23,577
営業外費用		
支払利息	5,986	4,196
その他	5,506	2,029
営業外費用合計	11,492	6,226
経常利益	285,349	296,092
特別損失		
減損損失	1,213	—
その他	54	—
特別損失合計	1,268	—
税金等調整前四半期純利益	284,081	296,092
法人税、住民税及び事業税	47,115	19,685
法人税等調整額	54,935	88,373
法人税等合計	102,050	108,058
四半期純利益	182,030	188,033
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	182,030	188,033

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	182,030	188,033
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31,108	28,351
退職給付に係る調整額	866	△1,845
その他の包括利益合計	△30,242	26,506
四半期包括利益	151,788	214,539
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	151,788	214,539
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	スーパー マーケット 事業	業務 スーパー 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	旅館、 その他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	5,713,926	3,582,840	1,823,360	1,139,155	204,301	12,463,583	-	12,463,583
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	762	32	35,831	-	1,174	37,800	△37,800	-
計	5,714,688	3,582,872	1,859,191	1,139,155	205,475	12,501,384	△37,800	12,463,583
セグメント利益 又は損失(△)	151,496	105,309	77,164	67,034	△38,126	362,877	△88,351	274,525

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△88,351千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△91,749千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な減損損失はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	スーパー マーケット 事業	業務 スーパー 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	旅館、 その他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	5,717,837	3,839,932	1,899,537	1,126,450	219,278	12,803,036	-	12,803,036
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	342	31	35,303	-	1,706	37,383	△37,383	-
計	5,718,180	3,839,964	1,934,840	1,126,450	220,984	12,840,419	△37,383	12,803,036
セグメント利益 又は損失(△)	146,147	112,482	93,625	57,311	△31,008	378,558	△99,818	278,740

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△99,818千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△99,972千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な減損損失はありません。